



19 建 第 186 号  
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

鹿町町長 宮田安猶



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

標記の件につきまして別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします  
します。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

### 【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

- 地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備
  - 観 光 西海国立公園 北九十九島、長串山公園などの観光資源を生かした観光客の誘致に努力している。また、近年は体験型観光にも取り組んでいるが、都市圏から目的地までの時間を要するため期待する観光客の増加にいたっていない。
  - 農業・漁業 地元で生産された生鮮野菜、水揚げされた鮮魚の消費地への輸送時間の短縮が販路拡大の重要な要素となっている。
  - 企 業 道路が整備されることにより地元への企業の進出が期待され、雇用の場が確保できる。また、通勤時間の短縮により通勤圏が拡大する。
- バリアフリー対策（歩道の段差解消）

高齢化社会にむかって是非とも対策を講じなければならない問題であると認識している。本町においても、既設の歩道の段差解消、幅員拡幅については町民、議会から強い要望がある。特に歩行にあたって補助用具を必要とする高齢者にとっては歩行不可能な箇所が存在する。
- 交通事故対策（通学路を主とした歩道整備）

通学路の指定をしている道路において、町道はもとより主要地方道、一般県道においても既存の道路に歩道の設置がなされていない区間が存在する。車両の増加、大型化にともない児童、生徒また交通弱者に対する安全確保が必要である。
- 災害、重大事故などへの備え

本土の最西端に位置する当町は、幹線道路（国道）からの経路が限られているため一度重大な災害が発生すれば、陸の孤島と化してしまう恐れがある。現在においても集中豪雨が発生した場合には道路の冠水により交通がマヒしてしまう状況にある。災害に強い道路の建設が急務である。
- 大気汚染・騒音などへの環境対策  
地球温暖化対策のためのCO<sub>2</sub>削減

地球温暖化による自然生態系の破壊により、本町の基幹産業である農漁業に及ぼす影響は計り知れないものがある。また観光面においても自然の環境を観光資源とする当町においては影響は必至である。

#### 【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

- ・ 事業の開始前や途中段階で事業ごとの評価を徹底する  
計画決定から着手～完成までに長期間を要する。その間の情勢の変化により、道路の規模が現状にそぐわない場合が見受けられる  
定期的な事業計画の見直しを徹底して行うことが必要であると思う。
- ・ 建設や管理にかかるコストを減らす努力をする  
新技術、新工法が開発されているが、今後はコスト面を重視した開発に取り組む必要がある。たとえば、アスファルト舗装にしても補修工事のスパンができるだけ長くなるような技術の開発であるとか、トンネル照明の自家発電による電力供給などが考えられないだろうか。

#### 【その他】

- ・ 地方の道路は、まだ未整備であり道路網も確立していない。  
本町のような地理的条件が不利な地域にあっては、道路網の整備が最重要課題である。高速道路のICまでの最短ルートでの道路整備、市町村合併による地域間の道路整備を国においても支援して頂きたい。